

森林を育む「コーナンDIYの森」

SDGsラジオを讀んでみよう！

たくさんの日用品、日曜大工に使う道具がそろ、ホームセンター。

みなさんも、一度は行ったことがありますよね。

全国でホームセンターの「コーナン」を運営しているコーナン商事では、「森林」の保全活動を行っています。

その活動は「コーナンDIYの森」と名づけられ、2016年から、和歌山県田辺市で樹木を植える「植栽」をはじめ、さまざまな取り組みを続けています。地元の、森林組合の方々による指導のもと、シラカシ・アラカシ・ヤマモモ・ウバメガシ・ヤマザクラなど、現在3,800本を植栽しています。また、毎年、樹木の成長を妨げないように雑草を刈る、「下草刈り」を行ったり、木を追加する補植を行うなど、森が豊かになるよう、活動しています。

コーナン商事のように、現在社会では、いろいろな企業が、森林の保全活動に取り組んでいます。

みなさんが社会に出る頃には、今よりも緑にあふれた世界が広がっているかもしれませんね。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：2016年11月に行われた植樹式典
(コーナン公式HPより)



画像参照：毎年実施している「下草刈り」の様子
(コーナン公式HPより)

全国のさまざまな地域でホームセンターの「コーナン」を運営しているコーナン商事は、DIYで用いる木材や木で作られた商品も多く取り扱っていることから、「木」と深い関わりがあります。そこでコーナン商事は、「地球環境に貢献する事業」の一環として、「森林の保全活動」に取り組んでいます。そのひとつが2016年4月より、和歌山県田辺市内にある山の斜面に設けられた「コーナンDIYの森」で行われている植樹活動です。

「コーナンDIYの森」は、和歌山県が取り組んでいる「企業の森」という事業のひとつです。地元の森林組合による協力のもとで、「コーナンDIYの森」と名づけた区域に、ヤマザクラやヤマモモ、アラカシ、ウバメガシの苗木、約3,800本を10年間で植栽します。また、このプロジェクトでは植栽だけでなく、毎年たくさんの従業員のみなさんが現地を訪れて、樹木の成長の妨げとなる雑草を刈る「下草刈り」も行っています。森林には地球温暖化の原因とされる二酸化炭素を吸収したり、たくさんの生物を守ったり、地球環境に貢献するさまざまな力があります。このような地球に優しいプロジェクトが社会でもっともっと広がれば、きっと明るい未来が待っているはずです。

キーワード

DIY

「Do It Yourself」の頭文字をとったもので、「自分でやる」という意味です。木工や大工仕事のプロではない人が、自力で家具や小物を作ったりすることを「DIY」と言います。

企業の森

和歌山県 森林・林業局 森林整備課 が実施している事業。企業や団体、自治体・森林組合などが連携して森づくりを進めています。

地球温暖化

大気中の二酸化炭素の濃度が増加することで、温室効果が高まり、地球の平均気温が上昇していく現象のことです。

対象ゴール



みなさんにできること！

森林と環境保全の関係についてもっと深く学んで、自分たちにできることを考えてみましょう。

- コーナンでは、2016年から10年間で約3,800本の植樹活動を進めている。
- 和歌山県では自治体と企業が連携して、森林の保護活動に取り組んでいる。
- 森林が豊かになることは、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素の吸収などに役立つ。

メモ

